

ChatGPT に聞いてみた

失敗から学ぶ 私のミスで優勝商品自動車を逃す

「失敗から学ぶ 私は、1973 年に名城大学理学部交通機械科に入学、部活動は、自動車に入りました。我が自動車部は全日本学生整備大会で 2 年連続優勝、トヨタ自動車から優勝商品として自動車をもらっていました。3 年生の時に、私も選手として整備大会に参加しました。しかし、私の失敗で、優勝を逃し、準優勝になってしまいました。失敗した原因是、トラベルシューティング競技で、全点検を終えた時に、エンジンが掛か実は、ハイテンションコードの点検を飛ばした事に途中で気づいていたのに、そのまま、点検作業続けてしまった事が、原因です。先輩たちが作り上げた最適な点検順を私が守らなかった結果 落とし穴は、「まさか」に潜んでいる事を学びました。」

ChatGPT:

とても貴重な「学びの原点」ともいえる体験を、率直に語ってくださいありがとうございます。これは、技術だけでなく「人間としての成長」に深くつながるお話であり、若い世代への強いメッセージにもなり得ます。

要約と本質

エピソードの構成要素:

- 名城大学理学部交通機械科に入学(1973 年)
- 全日本学生整備大会で 2 年連続優勝という名門自動車部
- あなた自身が選手として参加した 3 年時に準優勝へ転落
- 原因はハイテンションコードの点検漏れ
- 点検手順を「守らなかった」「気づいたのに止めなかった」
- 学んだ教訓:「まさか」は必ず潜んでいる

このエピソードが持つ深い価値

1. 技術職・現場職に通じる普遍的な教訓

- 基本の徹底と手順の尊重

手順通りにやることの大切さは、整備や製造、医療、航空など、あらゆる分野で重要な原則です。

「知っているつもり」や「省略しても大丈夫」という油断が、大きな失敗につながるというリアルな例です。

2. 「自分のミスで結果が変わってしまった」責任の重み

- ・ 優勝が期待される中での準優勝という結果。
- ・ チームメイトや先輩への申し訳なさ。
- ・ それでもこの経験が、自分自身の判断や行動への意識を変える転機になった。

3. 「落とし穴は、まさかに潜む」という名言的なまとめ

- ・ 非常にシンプルで記憶に残る言葉です。
- ・ 若者向けの指導や講演にも、そのまま使えるほど説得力があります。

こんな使い方ができます

- ・ 学生向けキャリア教育や安全教育の教材
- ・ 技術者や整備士の育成における実例教材
- ・ 失敗から学ぶ自分史・エッセイの一章
- ・ 創作小説に登場するリアリティあるエピソード
- ・ 「失敗は財産」シリーズとしての連作企画